

2020 **2.1**
令和2年

議会から こんにちは



令和元年12月定例会

- 復旧・復興への費用を計上した補正予算を可決
- 市長の専決処分事項(補正予算)を12月定例会で承認
- 一般質問に12人が登壇

令和元年12月21日(土)に、台風第19号の災害からの復興を目的に「元気な佐野市へ!～佐野市復興プロジェクト in 東武北千住駅～」が開催され、佐野市の特産品の販売などが行われました。

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会

検索



▽佐野市議会の様子をライブ中継と録画により映像配信しています。

佐野市議会スマート中継

検索



の復旧・復興に向けて

市長の専決処分事項(補正予算)を12月定例会で承認

12月定例会において、市長が専決処分を行った補正予算が報告され、12月10日の本会議において賛成全員で承認されました。

※「市長の専決処分」とは、議会が議決又は決定をすべき事項について、決定事由に該当する場合や議会の議決により委任された場合に、市長が議会に代わって処分することをいいます。今回は「特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき」の事由により専決処分を行ったため、市長は次の議会で報告し、その承認を求める必要がありました。

令和元年10月16日に市長が専決処分した主な事業費

【12月10日承認】議案第94号 市長の専決処分事項承認について(令和元年度佐野市一般会計補正予算(第6号))

・台風第19号に伴う避難所運営事業費	(300万円)
・台風第19号に伴う医療救護医師派遣事業費	(80万円)
・台風第19号に伴う災害廃棄物等処理事業費	(11億6,879万円)
・台風第19号に伴う被災住宅応急修理事業費	(1億7,850万円)
・台風第19号に伴う市道等災害復旧事業費	(7億4,600万円)
・台風第19号に伴う普通河川等災害復旧事業費	(2億4,300万円)
・台風第19号に伴う中学校災害復旧事業費	(1億4,190万円)



廃棄物処理の様子

令和元年11月6日に市長が専決処分した事業費

【12月10日承認】議案第95号 市長の専決処分事項承認について(令和元年度佐野市一般会計補正予算(第7号))

・台風第19号に伴う災害見舞金支給事業費	(2億4,405万円)
・台風第19号に伴う家財等購入等支援事業費	(3億円)
・台風第19号に伴う災害弔慰金等支給事業費	(2,500万円)
・台風第19号に伴う災害援護資金貸付事業費	(1億1,400万円)
・台風第19号に伴う衛生対策事業費	(3,100万円)

12月定例会の一般質問の変更

○市当局の災害対応を最優先させるため、通常3日間にわたって行う一般質問を1日で行いました。

○会派に属する議員は、会派ごとの質問とし、質問時間は会派の人数に応じ、答弁を含めて次のとおりとしました。(政友みらい：105分以内、公明党議員会・新風・蒼生会：各60分以内、日本共産党議員団：30分以内)

○会派に属さない議員の質問時間は、答弁を含めて1人15分以内としました。

発災後の佐野市議会の取り組み

○10月18日 議員懇談会を開催し、議員間の情報交換を実施

○10月21日 総務常任委員会及び経済文教常任委員会の行政視察の中止を決定

○11月 8日 議員全員協議会を開催し、被害の概況、対応状況、予算対応等を確認

○12月 6日 本会議で会期を12日間に短縮することを決定

○12月10日 栃木県市議会議長会から令和元年台風第19号被害に対する支援に関する緊急要望を福田知事に提出(春山議長出席)

○12月23日 被災箇所の現地視察を実施

台風第19号の災害から

台風第19号で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
一日でも早くもとの生活に戻れるよう、市民の皆様、市当局、企業、関係団体と協力し、復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいります。
佐野市議会

▶ 復旧・復興への費用を計上した補正予算を可決

12月定例会において、台風第19号の災害からの復旧・復興に向けた費用を含む議案第102号 令和元年度佐野市一般会計補正予算(第8号)が上程され、各常任委員会で所管部分を審査し、12月17日の本会議において賛成全員で可決されました。各常任委員会における災害についての質疑と答弁の一部は次のとおりです。詳しくは、佐野市議会ホームページから録画映像や会議録(2月27日掲載予定)をご覧ください。

総務常任委員会

台風第19号に伴う
派遣職員受入管理事務費 3,996万円

派遣職員の人数について

- 派遣職員は何名くらいを考えているのか。
- 質疑**
- 答弁** 各課から、5課10名の職員の要望が上がりました。今回は、この10名に対する予算です。

台風第19号に伴う災害ボランティア
センター支援事業費 152万円

今後のボランティアについて

- 質疑** 今後のボランティア派遣状況は。
- 答弁** 災害ボランティアセンターから通常のボランティアセンターに切り替わった以降も派遣は続けていくと社会福祉協議会から伺っています。

その他の事業費

- ・復興推進事業費(51万円)
- ・復興推進事務費(10万円)
- ・台風第19号に伴う職員人件費(3,000万円)

厚生常任委員会

台風第19号に伴う災害廃棄物等処理事業費 80億6,920万

一般廃棄物の処分方法について

- 質疑** 一般廃棄物を埋め立てにより市で処分する考えはあるか。
- 答弁** 処分方法はまだ決まっていますが、埋め立ても一つの方法と考えています。

廃棄物処理の費用について

- 質疑** 受け入れた廃棄物処理の費用は今後どうなるのか。
- 答弁** 市で受け入れた廃棄物の処理の費用は補正予算に全て含まれています。

経済文教常任委員会

台風第19号に伴う
小学校災害復旧事業費 3,630万円

小学校の復旧工事の内容について

- 質疑** 復旧工事の内容は。
- 答弁** 氷室小学校の体育館の床板が浸水により反ってしまっています。全面貼り替えが必要か調査し、対応していきます。

台風第19号に伴う
農地災害復旧事業費 5億7,150万円

農地に流出した土砂の対応について

- 質疑** 農地に流出した土砂を撤去していただけるのか。
- 答弁** 原則として原状復帰を考えています。

その他の主な事業費

- ・台風第19号に伴う強い農業・担い手づくり総合支援事業費(4億6,000万円)
- ・台風第19号に伴う被災企業等支援事業費(5,550万円)

建設常任委員会

台風第19号に伴う
市道等災害復旧事業費 8,265万円

応急復旧を行う市道について

- 質疑** 応急復旧を行う市道は何か所あるか。
- 答弁** 道路に関しては7カ所あります。

台風第19号に伴う
普通河川等災害復旧事業費 7,120万円

普通河川等の復旧事業について

- 質疑** 何か所復旧事業を行うのか。
- 答弁** 災害査定での国庫補助の申請に伴うものとして2本です。そのほかに護岸や河床の工事を行います。

その他の事業費

- ・台風第19号に伴う被災住宅応急修理事業費(4億1,650万円)



田所 良夫 議員(新風)

台風19号の影響について

Q 旗川河川越水箇所に対する改修工事の意見書及び要望を関係機関に対して行うべきと考えるが、当局の見解を伺いたい。

A 市長

堤防の決壊や越水等により、多くの住宅が床上・床下浸水等の被害を受け、本市全体の経済損失は、はかり知れないものがあります。

また、被災から約2カ月が経過しましたが、市民の皆様においては、いまだ多くの方々が不安な日々を送っている状況にあると思います。

本市としては、災害による復旧・復興を最優先課題と位置づけ、今こそ底力を最大限発揮し、元気な佐野市、輝く佐野市が復活できるよう、全身全霊でこの難題に立ち向かう所存です。

さらに、国や県など関係機関に対して、より迅速で、より強固な復興支援を要望したいと思っています。



横田 誠 議員(新風)

災害廃棄物について

Q 災害廃棄物の仮置き場の土壌改善と原状復帰についての見解を伺いたい。

A 市民生活部長

赤見運動公園プール駐車場については、舗装がされていましたので、災害廃棄物の搬出終了後、重機等の使用により損傷した舗装部分を打ちかえる予定ですが、ほかの指定仮置き場については、土壌汚染が危惧されるので、指定仮置き場の復旧工事の際に土の採取を行い、設置前に採取し、保管していた土とともに土壌検査を行う予定です。

また、復旧工事に際しては、表層を10センチ掘削し、粘性土で埋め戻します。さらに、中運動公園陸上競技場と栄公園野球場は原形どおり張り芝を実施し、グラウンドとして利用できる状態に戻す予定です。



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

被災者に寄り添う
市政への転換について

Q 半壊までは59万5,000円、一部損壊(準半壊)は30万円を補助する制度である住宅応急修理について、12月9日現在の申請件数が439件ということですが、被災者への十分な周知ができていると考えているのか。

A 都市建設部長

※住宅の応急修理制度の被災者への周知については、市及び県のホームページ、ツイッター、広報さの、佐野ケーブルテレビや被災町会への全戸配布のチラシ、また生活再建支援のお知らせ等により、被災者の方々に周知してきました。

今後についても、引き続き同様の方法で被災者の方々に周知を図っていきたいと考えています。

※住宅の応急修理制度とは・・・

災害により住宅が半壊もしくは一部損壊(準半壊)または大規模半壊の被害を受けた世帯に対し、被災した住宅の居室、台所、トイレ等日常生活に必要な不可欠な最小限度の部分を市が業者に依頼し、一定の範囲内で応急的に修理する制度です。



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

災害復旧・復興と
今後の計画について

Q 災害廃棄物処理計画どおりに廃棄物処理が進んだのか、チェックしたい。

A 市民生活部長

災害廃棄物処理計画に基づいて処理等については行いましたが、対応マニュアルがまだできていませんでした。したがって、対応において反省すべき点も幾つかあります。例えば仮置き場の確保と搬入に関する周知方法です。2つ目は、被災地域に集積された災害ごみの回収が後手に回ったこと、3つ目は、仮置き場に必要ない人員、資機材、重機の確保、4つ目は、災害ごみの搬出ルートの確保などです。

今回の災害対応についての幾つかの反省点などを踏まえ、また地域の皆様のご意見などを聞きながら、今後の災害時対応マニュアル作成に生かしていきたいと考えています。



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

台風19号の被害について

Q 多くの被災者から川底ざらいや堤防を高く強固にしてほしいとの要望を聞いており、今後川底ざらいを実施するとともに、原形復旧ではなく、防災機能を高める改良復旧が大変重要であると考えます。今後本市としてどのような対応を講じていく考えか伺いたい。

A 都市建設部長

安心して生活できる環境を構築できるよう栃木県に対し、河川改修計画に基づいた改良復旧を早期に実施していただけるよう要望します。

また、河川断面の拡張や堤防の裏側までコンクリートで覆う巻堤及び破堤をおくらせる堤防天端の舗装など、現状より強固な堤防の検討や、流れを阻害されないように川の中の土砂等を※しゅんせつすることなど、あわせて要望します。

※しゅんせつ
(浚渫)とは・・・

水底の土砂や岩石をさらうことをいいます。



金子 保利 議員

台風19号について

Q 台風19号は、佐野市民を恐怖におとしめ、甚大なる被害を招いてしまっただ。今回の大災害に陥った原因というのは、400ミリを超えるような豪雨が各地で起こってしまったということだと思いが、要因はどのようなことと捉えているか、伺いたい。

A 行政経営部長

被害の要因については、10月12日、1日の総雨量が葛生豊代で410ミリ、秋山の観測所で471ミリ、作原観測所では377ミリの大雨による河川の決壊、氾濫と土砂災害です。





小倉 健一 議員

災害対応について

Q 現在の避難所は、発災から初動、応急の一時的避難所として機能しているが、継続的復旧につなげる相談窓口を兼ねた避難所を各地区に設置する必要があると考える。見解を伺いたい。

A 行政経営部長

台風第19号における避難所としては、水室地区公民館において、臨時的に窓口を開設し、対応した経緯があります。

相談窓口を

兼ねた避難所については、避難された皆さんの状況や所定の窓口までの距離、相談内容にに応じた人員確保など考慮した上で必要に応じて対応したいと考えています。



▲ 台風第19号接近時の避難所の様子



川嶋 嘉一 議員(政友みらい)

台風19号への対応について

Q 避難所については、必ずしも市有建築物ではなくても、市内の県立高校や私立高校、ビジネスホテルもあり、トイレ等も完備された佐野サービスエリア、出流原スマートインターチェンジ完成後の出流原パーキングエリアを緊急時に使用できると考えるが、見解を伺いたい。

A 行政経営部長

佐野日本大学学園の諸施設を始め、市内にある全ての高等学校と2次的な避難所としての覚書については、現在交わっているところです。

佐野サービスエリアは、高台にあり、食事やトイレ、また宿泊施設などが整っており、また出流原パーキングエリアについても有効であると考えていますので、今後協定の締結に向けて調整を進めたいと考えています。



慶野 常夫 議員(政友みらい)

台風19号による被災後の対応について

Q 本市全ての河川のしゅんせつや堤防のかさ上げの必要性を総点検し、洪水に強いまちづくりをしてほしいと考えるが、どのように考えるか。

A 都市建設部長

本市が管理している、今回被害を受けた普通河川については、道路河川課実施のパトロールや地元町会などからの情報提供をもとに点検をしたいと考えています。

今後は、点検結果をもとに、護岸の低い箇所のかさ上げの検討や、現在も行っている、河川の流れを阻害しないように、維持管理としてのしゅんせつなどを実施したいと考えています。

また、栃木県が管理している一級河川においても、しゅんせつなどの実施を要望していきます。





亀山 春夫 議員(政友みらい)

農地の災害復旧について

Q 農地が流出土砂によって河原と化してしまった箇所の復旧・復興ができない場合の農地の扱いはどのようなものか伺いたい。

A 産業文化部長

河川や山林からの流出土砂により河原と化した農地の復旧に関しては、土砂等の排出工事などを実施し、必要に応じて覆土も行うなどして、

農業者が被災前のように意欲的に、そして継続的な営農が可能なように農地を復元することを計画しています。



山菅 直己 議員(政友みらい)

災害への対応・対策について

Q 葛生地区は26町会があるが、被害を受けたなかった町会は2町会のみで、広範囲での被害となった。

秋山川や仙波川、小曾戸川のように県が管理する一級河川のほか、古川や荒久川など、市が管理している普通河川についても、現状復旧ではなく、改修の実施が必要と考えるが、いかがか。

A 都市建設部長

県が管理する一級河川秋山川などについて、市として、まずは被災箇所の一日も早い復旧、また流れを阻害されないよう河川の維持管理としてのしゅんせつなど県に要望します。

また、市が管理する普通河川等についても、現在も行っています。流れを阻害されないよう河川の維持管理としてのしゅんせつを実施し、状況を確認しながら、護岸の低い箇所のかさ上げ、川幅の狭い箇所の拡幅など、改修を検討します。



早川 貴光 議員

災害による情報格差の対策について

Q 災害発生直後に、消毒液配布や救援物資の依頼は全て町会を通して行うこととしていた。各町会の負担に対する平準化まで考えていたか。

A 産業文化部長

救援物資の配布については、被災者が市内各地で多数にわたることから、支援の公平性を考慮し、個人を対象とするのではなく、日ごろから地域の自治活動や自主防災会等を組織した活動に取り組んでいる町会単位で支援を行うことが妥当であると考えています。

しかしながら、地域の自主防災会等の活動状況により、被災市民全体に幅広く支援の届かない場合もあるので、今後他自治体等の事例を参考にしながら、支援の平準化に向けた取り組みについて研究したいと考えています。



令和元年12月定例会 審議された議案等と結果

12月定例会は、12月6日(金)から12月17日(火)までの12日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等		
報告第 19号	市長の専決処分事項報告について【令和元年7月20日に発生した物損事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—	
報告第 20号	市長の専決処分事項報告について【令和元年9月30日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—	
報告第 21号	市長の専決処分事項報告について【令和元年8月2日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—	
議案第 94号	市長の専決処分事項承認について【令和元年度佐野市一般会計補正予算(第6号)歳入歳出の予算の総額にそれぞれ2,879,525千円を追加、地方債の補正】	承 認	賛成全員	
議案第 95号	市長の専決処分事項承認について【令和元年度佐野市一般会計補正予算(第7号)歳入歳出の予算の総額にそれぞれ714,057千円を追加、地方債の補正】	承 認	賛成全員	
議案第 96号	佐野市自家用有償バス条例の廃止について【佐野市自家用有償バスを廃止するための条例の廃止】	原案可決	賛成全員	
議案第 97号	佐野市公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備について【公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、所要の規定を整備するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員	
議案第 98号	佐野市会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定について【会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償の額並びにその支給方法等について必要な事項を定めるための条例の制定】	原案可決	賛成多数	
議案第 99号	佐野市運動公園(仮称)運動広場造成工事請負契約の変更について【消費税及び地方消費税の税率が変更になったことに伴う契約金額の変更】	原案可決	賛成全員	
議案第100号	はしご付消防自動車の取得に係る物品売買契約の変更について【消費税及び地方消費税の税率が変更になったことに伴う契約金額の変更】	原案可決	賛成全員	
議案第101号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更について【小山市及び小山広域保健衛生組合が、事務の共同処理に加入することに伴う規約の変更】	原案可決	賛成全員	
議案第102号	令和元年度佐野市一般会計補正予算(第8号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ10,452,627千円を追加、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員	
議案第103号	令和元年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,137千円を追加】	原案可決	賛成全員	
議案第104号	令和元年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ6,232千円を減額】	原案可決	賛成全員	
議案第105号	令和元年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ2,835千円を減額、繰越明許費】	原案可決	賛成全員	
議案第106号	令和元年度佐野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ2,117千円を減額】	原案可決	賛成全員	
議案第107号	令和元年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ3,109千円を減額】	原案可決	賛成全員	
議案第108号	令和元年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ6,990千円を減額】	原案可決	賛成全員	
議案第109号	令和元年度佐野市水道事業会計補正予算(第1号)【収益的収入の予定額に872千円を追加、収益的支出の予定額に204千円を追加など】	原案可決	賛成全員	
請願第 2 号	合併処理浄化槽整備の拡大に関する請願(9ページに記載)	採 択	賛成全員	

賛否が分かれた議案

議案番号	件 名	賛 成	反 対	議員名【議席番号順】																								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
				慶 野 常 夫	川 嶋 嘉 一	菅 原 達	木 村 久 雄	横 井 帝 之	早 川 貴 光	小 倉 健 一	金 子 保 利	亀 山 春 夫	小 暮 博 志	本 郷 淳 一	若 田 部 治 彦	横 田 誠	田 所 良 夫	久 保 貴 洋	鈴 木 靖 宏	岡 村 恵 子	鶴 見 義 明	井 川 克 彦	山 菅 直 己	篠 原 一 世	春 山 敏 明	飯 田 昌 弘	高 橋 功	
議案第98号	佐野市会計年度 任用職員の報酬、 期末手当及び費用 弁償に関する条例 の制定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○

※○＝賛成、×＝反対

※春山敏明議長は採決に加わりません。

請願の審議結果

請願第2号 合併処理浄化槽整備の拡大に関する請願

▼請願人

有限会社 城南興業 代表取締役 金子 雅幸 ほか2人

▼紹介議員

鈴木 靖宏 議員

▼請願の要旨

合併処理浄化槽は、優れた処理能力を有し、災害に強く地方財政にも優しい処理施設であることから、地域の実情に合わせ、下水道などの集合処理から個別処理の合併処理浄化槽への処理計画の見直しを図るべきです。

▼審議結果

12月定例会において建設常任委員会に付託され、審査の結果、賛成全員で採択されました。本会議においても審議され、賛成全員で採択されました。



請願の理由及び請願者からの補足はこちらからご覧になれます。

令和2年 第1回佐野市議会定例会日程(案)

令和2年第1回定例会の日程は、2月20日(木)の議会運営委員会で内定し、2月28日(金)の本会議で決定します。
※日程は変更になることがあります。

2/17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)	22日(土)	23日(日)
	請願及び陳述の 提出期限(17:00)		13:30 議会運営委員会			
24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	3/1日(日)
				10:00 本会議 (予算大綱説明、 議案説明)	休会	休会
2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)	7日(土)	8日(日)
休会	10:00 本会議 (予算大綱質疑、 議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)	14日(土)	15日(日)
休会	9:00又は10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00又は10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	9:00 予算審査特別委員会	休会	休会
16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	21日(土)	22日(日)
9:00 予算審査特別委員会	9:00 予算審査特別委員会	9:00 予算審査特別委員会	休会	休会	休会	休会
23日(月)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	28日(土)	29日(日)
10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決)						

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会は、付託された議案・請願・陳情等の件数が6件以下の場合は午前10時に開会、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

各常任委員会 行政視察報告

市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政視察を実施しました。以下のとおり研修内容を報告します。

※総務常任委員会及び経済文教常任委員会の行政視察は、令和元年10月12日の台風第19号による災害発生のため中止しました。

厚生常任委員会

10月1日(火)～2日(水)

10月1日 富山県富山市 「富山市まちなか総合ケアセンターについて」

富山市の「富山市まちなか総合ケアセンター」は、乳幼児から高齢者・障がい者を含む全ての地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進するために、子育て支援や住宅医療等のサービスを一元的・包括的に提供する先進的な施設です。

委員の所見

同センターは、小学校跡地を活用し、PPP(公民連携)の手法により整備した施設の公共施設部分にあたりますが、施設エリア内には民間施設部分として専門学校やレストラン、フィットネスクラブなども併設され、とても活気あふれる素晴らしい施設でした。

10月2日 石川県小松市

「DBO方式による新ごみ処理施設(エコロジーパークこまつ・クリーンセンター)」について

小松市のエコロジーパークこまつは、クリーンセンター・リサ



イクルセンター・最終処分場の3つの施設を備え、DBO方式(設計・建設と運営・維持管理を民間事業者に一括発注する公設民営の一つの方式)により、総合的に市の負担を抑えた先進的な事業です。

委員の所見

同じ敷地内に最終処分場も有する自己完結型の施設とすることで、施設の維持管理費の削減やエネルギーの有効活用・ごみの削減などが行える大変バランスの良い取り組みで、ごみ処理施設の使用年数が迫る佐野市にとって、とても参考になる視察となりました。

建設常任委員会

10月2日(水)～3日(木)

10月2日 富山県富山市 「コンパクトなまちづくりについて」

都市マスタープランにより公共交通活性化を目指し、富山市を取り巻く課題に対応したコンパクトなまちづくりの必要性から、富山駅を中心とした富山ライトレール、LRT等の公共交通を軸としたまちづくりについて研修しました。

委員の所見

公共交通の利用可能な圏域に人口の98%が居住し、公共交通網を軸としたコンパクトなまちづくりが推進され、本市のコンパクトシティの考え方につながるものでした。中心市街地活性化のみならず、財政面で税の還流という点からも合理的かつ効果的な取り組みでした。

10月3日 富山県高岡市

「たかおかストリート構想について」

交流・観光を産業の柱の一つに育て上げていくことを意識し、「歩いて楽しいまちづくり」を推進する「歴史都市・高



岡」が誇る歴史的風致を十分に堪能していただける歩行系回遊ルートの整備状況について研修しました。

委員の所見

たかおかストリート構想で3つのゾーニングルートを定め、楽しんで散策できる公共の空間整備や魅力づくりを進めていました。行政、市民、事業者やまちづくり団体等の協働による公共の空間づくり、市街地形成として非常に参考になる協働の在り方でした。

佐野市の小学生が市議会(一般質問)を傍聴しました



学校における社会科教育の一環として、市政や議会に対する理解と関心を深めることを目的に、12月11日に山形小学校の6年生(9名)と佐野小学校の6年生(47名)が市議会を傍聴しました。11日は一般質問が行われており、議員が市政について質問し、市の執行部が答弁するやりとりに熱心に耳を傾けていました。

傍聴者の声



山形小学校 6年
福嶋ひなのさん

私は、市議会をばう聴して市議会議員の方々の大変さを感じました。ふ段見る機会の少ない貴重な議会の様子を、実際にばう聴することができ、うれしかったです。

以前、佐野市は、台風19号のため多くの被害を受けました。多くの市民が被害のため、辛い思いをしました。

議場では、このような被害をもたらした台風19号の経験を生かして、これからの災害対策などをどのように工夫していくかを話し合っていました。市議会議員の方一人一人が、自分の意見を明確に伝えていて、様子をばう聴して、心からすごいと思いました。そして、議会に参加している全員が私たち市民のことを考えてくれていることが伝わってきました。

また、議会では、決められた発言時間内に発言をしなければならぬことも知ることができました。

このようなことから、私は市議会議員のみなさんが、私たち市民のよりよい生活のために一生懸命に働いてくださっていることを感じました。私も、佐野市のために自分ができることを精いっぱい努力していきたいと思っています。



佐野小学校 6年
滝口 紗菜さん

わたしたちは、市役所で行われた佐野市議会を見学させてもらいました。

見学をしてみて、市議会議員のみなさんが、市民のことや、災害にあった人たちのことを考えて話し合いをしているのが、ひしひしと伝わってきました。緊張感がとてもあり、本当に真面目に問題を解決しようと思って取り組んでいることも分かりました。

佐野市に住んでいる一人として考えてみても、この話し合いはとても印象深く、心に残りました。

佐野市をより良くしたり、災害にあった人たちのために話し合ったりしているのを見て、わたしも大人になったら、必ず選挙に行き、自分たちの代表になる人を選ぶことで、良い佐野市をつくるのに、こうけんしたいと思いました。ありがとうございました。

新春号の案内



議会だより新春号は、佐野市議会ホームページでの配信のみです。全市議会議員の新年の抱負が掲載してありますので、ぜひご覧ください。

佐野市議会だより

検索



佐野市議会ホームページ及び 議会中継・録画配信をリニューアルしました

※ 録画映像は、会議の翌日（土日・祝日を除く）からご覧いただけます
（5年間保存）

本文へ 文字サイズ 標準 拡大 背景色変更 黒 青 白

佐野市トップへ



トップページ 議員紹介 市議会のしくみ 定例会・臨時会 会議の記録 議会活動 請願・陳情 政務活動費 お問い合わせ



リンク

クリック

会議日程

議会中継・録画配信

一般質問通告書

会議録の検索と閲覧

議会だより

佐野市のホームページ

佐野市議会 議会中継

会議室一覧 議員名一覧 会派名一覧 条件検索 表示設定 動作確認



キーワード検索
スペース区切りで複数指定できます。
Q キーワードを入力してください
会議一覧
ご覧になる会議/日程名を選択ください。表示年を変更すると表示が更新されます。
表示年: 令和元年/平成31年 設定: ライブ 全て
平成31年第1回(2月)定例会・常任委員会・予算審査特別委員会
令和元年第2回(6月)定例会・常任委員会
令和元年第3回(9月)定例会・常任委員会・決算審査特別委員会
令和元年第4回(12月)定例会・常任委員会

お知らせ
◆1E9以上であっても、以下のメッセージ
された場合はブラウザの互換表示設定が必要
です。設定方法は、「こちら」をご覧ください。
「お使いのWebブラウザは動作保証外です。」



「冬来たりなば春遠からじ」とあります。まもなく新年度を迎えますが、市民生活の更なる安心・安全に取り組んでまいります。
(久保記)

「冬来たりなば春遠からじ」とあります。まもなく新年度を迎えますが、市民生活の更なる安心・安全に取り組んでまいります。
(久保記)

編集後記

【編集委員会】
委員長 篠原 一世
委員 川嶋 嘉一
委員 菅原 達
委員 久保 貴洋
委員 亀山 春夫

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 佐野市議会 議会からこんにちは 2020.2.1 ⑫

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話: 0283-20-3036 ファックス: 0283-21-4411
電子メール: gikai@city.sano.lg.jp